

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

島根県

自治体名： 島根県

担当課名： 教育庁保健体育課

電話番号： 0852-22-5430

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	6707.81 km ²
人口	641,396人
公立中学校数	92 校
公立中学校生徒数	16,602 人
部活動数	524 部活
都道府県の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
都道府県の推進計画・ガイドライン等の策定状況	令和7年3月策定予定

地域連携・地域移行における都道府県の現状・課題

公立中学校の部活動の地域連携・地域移行は、島根県のようなほとんどの地域が中山間地域・離島である地方にとっては、人材や受け皿の確保がより困難であり、また、活動拠点や移動手段といった課題も多いことから、県全体で一律に推し進めていくことは難しい状況である。

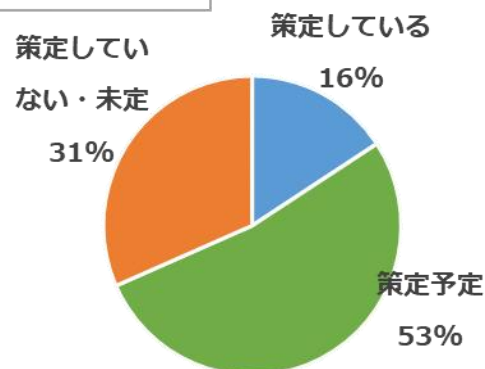
令和7年3月時点で、県内19市町村のうち、地域移行等に係る協議会や検討会議等を設置している市町村は7市町村、推進計画を策定している市町村は3市町村にとどまり、全国の状況と比べると低い割合となっている。

また、島根県では、2030年に開催される国民スポーツ大会に向けて、競技力向上の取組を強

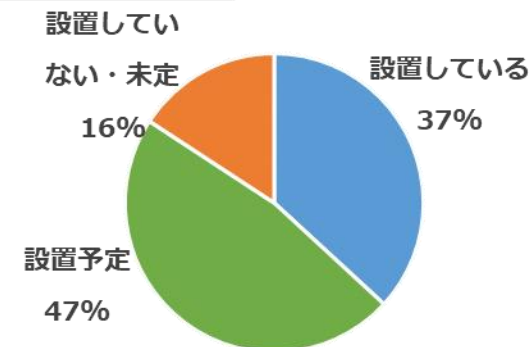
化しており、重要な役割を果たす部活動の地域移行は、この中で並行して行っていく必要がある。

このような状況下、公立中学校の設置者である市町村は、それぞれの実情に応じ、主体的に学校部活動単位で方向性等を検討し始めており、県としては各種情報提供や地域人材の活用等の支援を行うことで、地域移行・地域連携に取り組もうとしている市町村を支援し、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会や環境を整備していく必要があると考える。

推進計画の策定



協議会等の設置

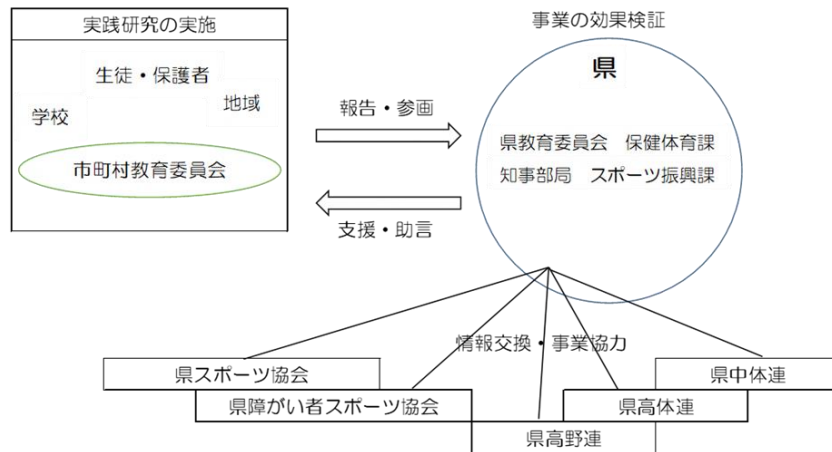


2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（都道府県における推進体制図）

地域スポーツクラブ活動体制整備事業推進体制（イメージ図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

・他課との情報共有、市町村との連絡調整、兼職兼業の検討、県の方針の検討・作成

◎首長部局

・県スポーツ協会・競技団体との情報共有、県の方針の検討・作成

年間の事業スケジュール

令和6年5月	令和6年度第1回部活動地域移行市町村連絡会議の開催
令和6年7月	第1回島根県部活動地域移行検討委員会の開催
令和6年9月	島根県部活動地域移行検討委員会第1回スポーツ分科会の開催 第2回島根県部活動地域移行検討委員会の開催
令和6年10月	第2回部活動地域移行市町村連絡会議（県内2箇所にて実施）の開催
令和6年11月	第3回島根県部活動地域移行検討委員会の開催
令和7年1月	第4回島根県部活動地域移行検討委員会の開催
令和7年2月	兵庫県部活動地域移行シンポジウム 参加
令和7年3月	島根県公立中学校における部活動の地域連携・地域移行に係る方針 策定

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備①

取組事項

- 島根県部活動地域移行検討委員会（以下「県検討委員会」という。）を設置し、本県の生徒にとってふさわしいスポーツ・文化芸術活動環境の構築に資する、学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等を検討。
- 「島根県公立中学校における部活動の地域連携・地域移行に係る方針」（以下「県の方針」という。）を策定。（令和7年3月）
- 市町村連絡会議を開催し、各市町村が抱える課題の共有や、県の方針等について議論を行った。

取組の成果

- 地域の実情に合ったやり方を地域の関係者が知恵を出し合い一緒になって考え、地域の中で子どもたちの豊かなスポーツ・文化芸術活動の環境を整えていくことを目的に、地域の実情に応じた島根県の方針を策定するため、県検討委員会（各市町村はオブザーバー参加）を設立し、第1回目の有識者を招いた講演会を含め、年間4回開催した。
- 検討を進めるにあたり、文化部・運動部それぞれの観点での意見の抽出が必要となり、スポーツ分科会を開催して、関係者同士等の課題の共有、県で作成した方針案に対する意見交換を行った。
- 県検討委員会及び各団体からの意見聴取、パブリックコメントの意見募集を経て、様々な立場や観点から検討を行い、令和7年3月に県の方針を公表した。
- 市町村連絡会議を年2回開催し、各市町村が抱える課題の共有や、県の方針の考え方、今後のスケジュール等について説明や議論をすることができた。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

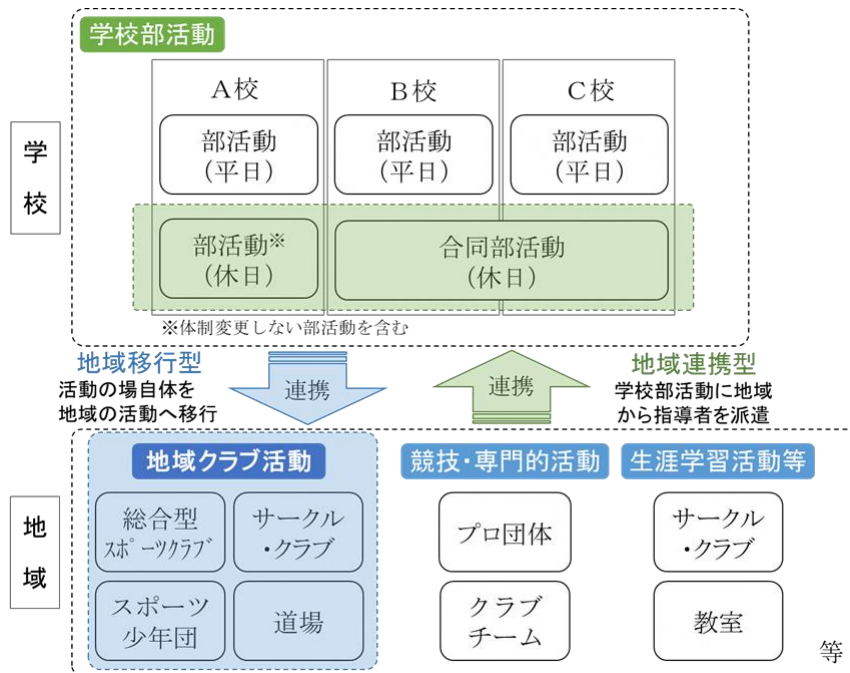
キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備②



出典:島根県公立中学校における部活動の地域連携・地域移行に係る方針

今後の課題と対応方針

○ほとんどの地域が中山間地域や離島であり、少子化や過疎化が進む本県においては、受け皿となる団体、人材といったリソースに限りがある。国のガイドラインの趣旨を踏まえつつ、学校においてどのような活動をするのか、地域としてどのように支えるか、限られたリソースの中で、地域の実情に合ったやり方を考える必要がある。

○令和7年度以降には各市町村が抱える地域スポーツクラブ活動への移行に関する課題把握や先行事例の共有等を行うとともに、県の検討委員会において県の方針に基づいた具体的な取組方策（パターン・モデル等）の検討を行うことが必要である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

- 部活動指導員等の指導者名簿の整備、市町村への情報提供
- 県立学校教育職員の兼職兼業の取扱いについて整理
- スポーツ振興課にて広域スポーツセンターと連携して、指導者の養成や質の向上を目的とした研修会を開催

取組の成果

- 県のホームページで一年を通じて各種指導員の募集を行い、令和6年度においては、学校を指定しない5名の指導員の応募があり、市町村に指導者情報の共有を行った。
- 県立学校教育職員の兼職兼業の取扱いについて整理し、県立学校に通知するとともに、各市町村にその内容を周知した。
- 研修会の参加者からは「とても参考になった」「参考になった」との回答が100%であり、指導者の質の向上を図ることができた。

指導者名簿の人数

運動部 5名

指導者区分と人数

部活動指導員	2名
地域連携指導員（県単独）	1名
地域指導者（県単独）	3名

種目

- ・ サッカー（男女）
- ・ 柔道
- ・ ハンドボール
- ・ バレーボール

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

【生涯スポーツ合同研修兼スポーツ指導者研修会】

対象：スポーツ指導者など

目的：スポーツ指導者の質の向上を目的に、現状の課題やニーズに合致したテーマ性のある講義、情報・意見交換を行う

工夫した点：スポーツハラスメントとプレーヤーズセンタードな指導法をテーマとした講演

指導者研修の参加実績

開催日： 12月21日、22日

開催回数： 2回

参加人数： 計50人

受講者の声

参加したスポーツ指導者等の声（抜粋）

「自分の日頃の指導について振り返ることができた」

「ティーチングよりもコーチング」

「選手の力を引き出していけるコーチになりたい」

今後の課題と対応方針

○オンラインも活用しながら、県関係各課や関係団体、市町村と情報共有や情報提供を積極的に行う。指導者の確保に向けた取り組みについて先行して実施している市町村には、その事例を発表してもらい、それぞれの実情に応じた意見を出し合い、現状の課題を解決できるような機会を確保する。

また、市町村からの問い合わせ等にも逐次対応する。課題を共有しながら、県全体で指導者の質・量の確保に努める。

○研修会により多くの指導者に参加してもらえよう、周知方法や開催時期などを工夫する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○県スポーツ振興課や県スポーツ協会等と連携をはかり、庁内関係課での検討会議や、市町村連絡会議にて市町村が地域移行を進める際に生じるであろう課題等について共有し、対応の方向性や方針の検討を行った。

取組の成果

○県検討委員会の委員として、広域スポーツセンター、県スポーツ少年団、県スポーツ推進委員協議会、県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会に参画いただき、各方面の状況や意見を参考に、県の方針の策定を進めることができた。また、県の方針の趣旨の説明、課題の共有等を行い、今後の対応の方向性について協議することができた。

○県スポーツ振興課とも連携・協力し、雲南市の取組（指導者講習会）への資料提供等を実施し、県一体となって市町村への支援を実施している。

今後の課題と対応方針

○令和7年度以降には各市町村が抱える地域スポーツクラブ活動への移行に関する課題把握や先行事例の共有等を行うとともに、県検討委員会において県の方針に基づいた具体的な取組方策（パターン・モデル等）の検討を行うことが必要である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

○県が開催する市町村連絡会議において、県内での実証事業の実施例や他県での取組事例の紹介を行った。また、市町村連絡会議を県内東部・西部の2か所で実施し、近隣自治体の情報共有や意見交換の場を設けた。

取組の成果

○市町村連絡会議を年2回開催し、各市町村の検討状況や、具体的な実施内容についての共有、意見交換等を行った。各市町村の担当者がその場で話をする場面もあり、広域的なつながりを作る一助となった。



今後の課題と対応方針

○オンラインを活用しながらも、担当者が直接話をしたり、共有する場を作っていけるよう、引き続き市町村連絡会の場を設け、県からの情報提供や他県での事例の共有を継続的に行っていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

- 実証事業を実施した雲南市において令和5年度には種目の拡充、令和6年度には開催回数の拡充を行った。
- 県としては、雲南市の検討会議にオブザーバーとして参加し、必要に応じて県の方針等の説明を行った。

取組の成果

- 雲南市での取組において、休日の地域指導者による活動の回数を拡充（R5⇒R6：種目数10⇒13、参加生徒合計628人⇒802人、指導者延べ数152人⇒161人）することができた。休日の部活動を地域で展開できるという見通しと意欲が高まっており、県全体での検討する上での事例を得た。

今後の課題と対応方針

- 今後県としてどのように考えていくか検討を進めていく必要がある。令和7年度以降も引き続き各市町村が抱える地域スポーツクラブ活動への移行に関する課題把握や先行事例の共有等を行うとともに、県検討委員会において県の方針に基づいた具体的な取組方策（パターン・モデル等）の検討、実施が必要である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

- 雲南市での実証事業の取組の中で検討・検証を行う。
- 県としては、市町村連絡会議にて、他県での取組等を紹介し、持続的に活動することを前提とした仕組みづくりの構築について説明を行っている。

取組の成果

- 市町村連絡会議にて、他自治体での取組事例の共有を図ることができた。

国実証事業担当者向け研修会①

○「令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業実務担当者研修会」
(R6. 2月)

対象範囲：R5年度実証事業を担当する県、市町村の担当者

【第一部】スポーツ庁及び地域スポーツクラブ活動アドバイザーによる講演

【第二部】都道府県及び市区町村による取組事例の発表

(内容抜粋)

① 都道府県と市町村における役割分担、連携体制について

(山口県・山口県四南市)

→県は方針策定、周南市は平日・休日を一体として新たな活動を行い、市の体協や文化振興財団が中心(事務局)となって周南市地域クラブを設立

② 地域クラブ活動への移行と持続的な運営体制の整備について

(千葉県柏市・柏スポーツ文化推進協会)

→柏市内にある部活動と同種目の地域クラブを新たに立ち上げ、地域クラブ運営団体(柏スポーツ文化推進協会)が事務局となって動いている(団体へ補助金を交付)

③ 複数の地方自治体が連携して地域クラブ活動を運営する取組について

(長野県南佐久郡佐久穂町・南佐久郡中学校部活動運営委員会)

→拠点校方式の合同部活動の推進するため、教委内にコーディネーターを置き、複数の町村で連携して実施し、各町村から負担金をもらって事務局を運営

18

18

今後の課題と対応方針

- 地域クラブ活動を実施していくにあたって、参加者に負担を求める収支構造にする必要はあるが、クラブの活動において一定の人数の参加がなければ収支のバランスが取れない。今後、実証事業を行う各市町村や、すでに実証事業を行い、来年度検証を進める雲南市の取り組み事例を参考として、持続して活動を行うことのできる環境を整えていくための具体的な取組方策(パターン・モデル等)の検討が必要となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- 雲南市での実証事業の取組の中で検討・検証を行う。
- 市町村連絡会議の中で、他県、他自治体での取組について共有を図り、地域クラブ活動を実施していく上で必要となる事例紹介を行った。

取組の成果

○県での事例紹介を参考に、各市町村においても他の市町村等への問い合わせを行うなど、練習場所等の確保という課題解決に向けた検討が行われている。

他県調査（山口県・萩市）

○山口県

- ・ 中国地方の中でも先進的な取組のある山口県を訪問調査
- ・ 「山口県新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針」（令和5年10月公表）
 - ・ 「令和7年度末までに県内全ての市町において、休日の学校部活動の地域連携、または、地域移行に向けた取組を実施」の方向性
- ・ 各種施策を実施
 - ・ やまぐち部活動改革セミナー（教育庁）
 - ・ 広域人材バンク及びポータルサイトの設置（観光スポーツ文化部）
 - ・ 指導者研修会の開催（観光スポーツ文化部）

○萩市

- ・ 青山学院大学陸上部等と連携協定の締結、地域クラブ活動の試行（運・文）、クラブコーチ育成研修会等を実施

17

17

国実証事業担当者向け研修会①

○「令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業実務担当者研修会」（R6.2月）

対象範囲：R5年度実証事業を担当する県、市町村の担当者

【第一部】スポーツ庁及び地域スポーツクラブ活動アドバイザーによる講演

【第二部】都道府県及び市区町村による取組事例の発表

（内容抜粋）

① 都道府県と市町村における役割分担、連携体制について

（山口県・山口県四南市）

→県は方針策定、周南市は平日・休日を一体として新たな活動を行い、市の体協や文化振興財団が中心（事務局）となって周南市地域クラブを設立

② 地域クラブ活動への移行と持続的な運営体制の整備について

（千葉県柏市・柏スポーツ文化推進協会）

→柏市内にある部活動と同種目の地域クラブを新たに立ち上げ、地域クラブ運営団体（柏スポーツ文化推進協会）が事務局となって動いている（団体へ補助金を交付）

③ 複数の地方自治体が連携して地域クラブ活動を運営する取組について

（長野県南佐久郡佐久穂町・南佐久郡中学校部活動運営委員会）

→拠点校方式の合同部活動の推進するため、教委内にコーディネーターを置き、複数の町村で連携して実施し、各町村から負担金をもらって事務局を運営

18

18

今後の課題と対応方針

○地域におけるリソースは限られているため、広域的に活動場所の確保について検討を進めていくため、他県、他市町村での取組事例について情報を得ていけるよう県が主体となって情報提供を行い、市町村での取り組みについても併せて共有する場を設ける。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

公立中学校の学校設置者である市町村が主体となり、学校、地域のスポーツ・文化芸術団体、協会・連盟等が、知恵を出し合い連携を図ることで、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動を継続して親しむための持続可能な環境構築について検討するにあたり、県検討委員会を設置し、様々な立場や観点での意見を聴取し議論を重ねることにより、県の方針の検討、策定を行った。

また、令和6年度には2市において、実証事業を実施し、地域クラブ活動を実施していくための方策を模索しているところである。

県としては、市町村の取組状況の把握に努め、市町村が情報共有できる機会の確保及び支援や他地域での取組事例の紹介等、情報提供を行うとともに、将来的に地域のスポーツ・文化芸術活動の指導者となり得る人材の育成・確保のため、部活動への部活動指導員等の配置といった地域人材の育成・活用に係る支援を引き続き行っていく。

●成果の評価

将来にわたり地域の中で子どもたちの豊かなスポーツ・文化芸術活動の環境を整えていくことを目的として、県の方針を策定することにより、今後一層、各市町村において地域の実情に応じた部活動の地域連携・地域移行の検討が進むことが見込まれる。

●今後に向けて

「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識のもと、行政、学校、地域のスポーツ・文化芸術団体（総合型スポーツクラブ、スポーツ少年団等。以下同じ。）、協会・連盟等が、一緒になって知恵を出し合い、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動を継続して親しむための持続可能な環境を地域においてどのように整えていくかが大切である。

令和7年度においても本事業を活用し、市町村と連携を図りながら地域スポーツクラブ活動への移行に向けた課題把握や先行事例の共有等を行うとともに、県の検討委員会において県の方針に基づいた具体的な取組方策（パターン・モデル等）の検討を行っていくことが必要である。

参考資料（活動写真）



【第1回島根県部活動地域移行検討委員会】



【第1回島根県部活動地域移行検討委員会スポーツ分科会】



【第2回市町村連絡会議】



【第4回島根県部活動地域移行検討委員会】

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	R 6	R 7	R 8～
県	県の方針検討	モデルケース提示	方針の見直し(適宜)
	人材育成・活用支援		人材育成・活用支援
	検討体制の構築に係る市町村支援		
市町村	協議会の設置・方針の検討		
	地域クラブ活動への実証・試行		
学校	地域クラブ活動への実証・試行		
	地域連携（地域人材の活用・合同部活動等）		
協会・ 連盟等 関係団体	県・市町村との連携		
	大会等の在り方検討		

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

島根県 益田市

自治体名： 島根県 益田市

担当課名： 教育委員会 学校教育課

電話番号： 0856-31-0445

1.自治体の基本情報

基本情報

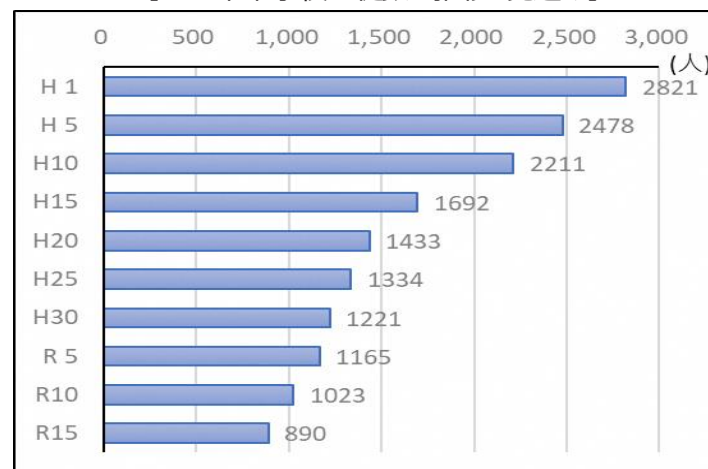
面積	総面積733.19 km ²
人口	42,995 人
公立中学校数	9 校
公立中学校生徒数	1,161人
部活動数	41 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

令和6年度の当市の運動部活動の設置状況は、陸上競技5校、女子バレーボール5校、野球5校、サッカー6校、男子バスケット2校、女子バスケット4校、男子ソフトテニス2校、女子ソフトテニス4校、男子卓球3校、女子卓球3校、男子柔道1校、女子柔道1校の41部活である。生徒数の減少に伴い、平成5年度に73あった運動部活動は大きく減少した。年度当初に単独校でチーム編成ができなかった部活動は1部活であったが、夏以降の1, 2年生の新人チームでは5部活に増加した。今後も生徒数が減少していくため、学校に生徒の求める活

動の場が少なくなり、部活動を理由とした校区外就学のケースも増加し、単独校でチーム編成ができない状況や廃部が続くことが予想される。また、現在スポーツ文化関係の地域クラブや習い事に通っている生徒は300名以上で多くの生徒が入会している。部活動は年々運営が困難になってきており、今後は学校単位から地域単位での活動に積極的に変え、持続可能で多様な体験機会を確保しなければならない。中体連や既存の地域クラブ、協会、連盟などスポーツ関係諸団体と連携を図りながら、実情に応じて段階的に地域移行を進めていく必要がある。

【益田市中学校生徒数の推移と見込み】

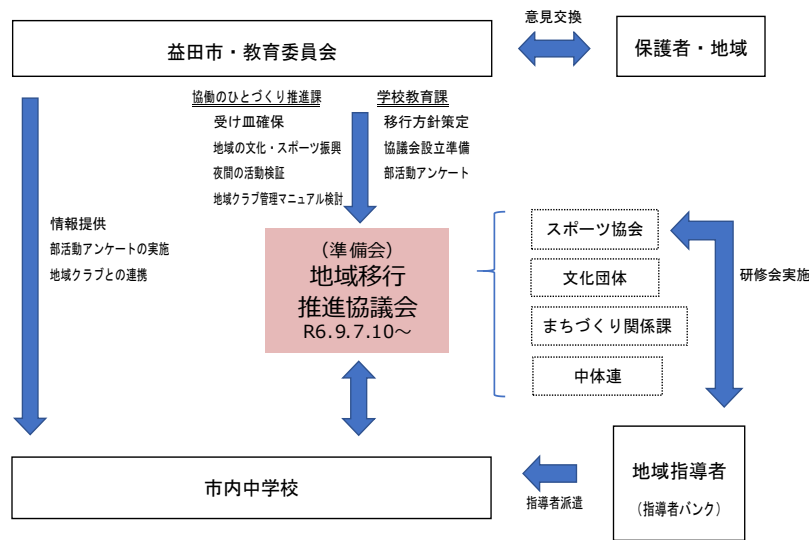


出典：学校基本調査

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・学校教育課・・・部活動改革の主幹、スポーツ関係諸団体との連携、地域移行推進協議会の運営
- ・協働のひとづくり推進課・・・スポーツ協会との連携、地域クラブ等の環境整備

◎首長部局

スポーツ主管課はなし

年間の事業スケジュール

令和6年4月	市部活動の活動方針の改訂 各中学校での保護者説明会
令和6年5月	地域移行に関するQ&A掲載 市中学校校長会で情報提供・協議
令和6年7月	小学校保護者説明動画配信 推進協議会設置要綱の策定 第1回準備会の開催
令和6年9月	第1回推進協議会の開催
令和6年11月	市郡中体連各競技専門委員との 個別協議（7回） 市郡中体連連絡協議会出席 第2回推進協議会の開催 各競技協会・連盟と個別協議開始 （2月まで、7団体）
令和6年1月	拠点校訪問・協議（1校）
令和7年2月	地域移行に関するアンケート調査 （対象:小5.6児童・中1.2生徒、 その保護者、教職員） 市中学校校長会で情報提供・協議
令和7年3月	第3回推進協議会の開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1校	実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1クラブ（1部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	1人	全体の運営スタッフ数	1人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
横田クラブ	民間スポーツ事業者	女子バスケットボール	月 15 回程度	平日 放課後 休日 午前又は午後	1年 3人 2年 7人 3年 2人	通年	横田中学校体育館	1人	1人	年額 26,400円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

開催実績なし

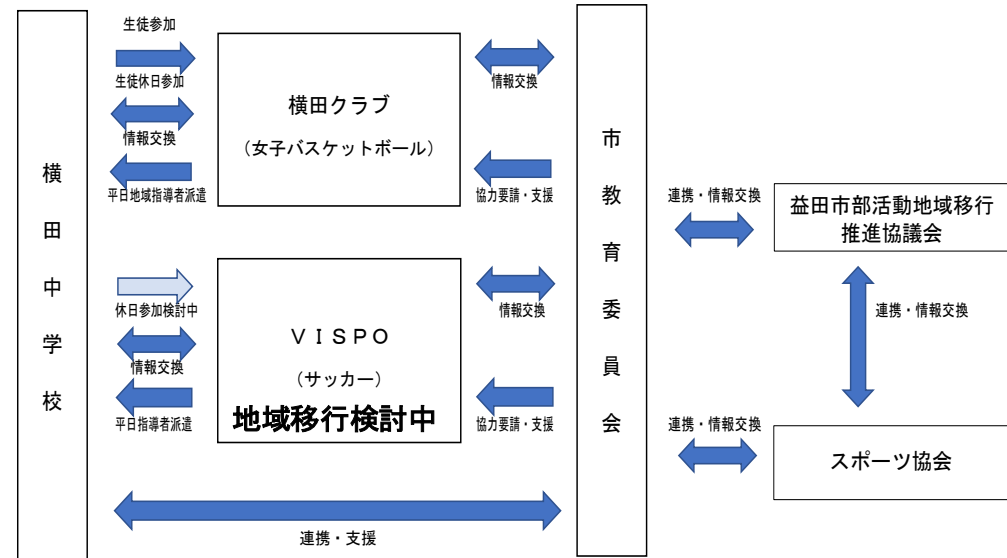
2.実証内容と成果

主な取組例

●横田クラブ活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	女子バスケットボール
運営団体名	横田クラブ
期間と日数	通年、月15回程度
指導者の主な属性	地域クラブ指導者
活動場所	横田中学校体育館
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	年額 26,400円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：1,450円

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

横田クラブは指導者が運営と指導の全ての業務を行っている。

【参考】サッカーは、地域スポーツクラブVISPOの指導者、地域指導者の3名が学校部活動の指導に関わっている。将来的な休日の地域移行に向けて検討を進めている。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

● 取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○統括コーディネーターを1名配置し、中学校やスポーツ関係諸団体との連携を図る。

○受け皿となりうる地域クラブ等の確保につながる体制を確立する。

○地域クラブ等との連携による段階的な地域移行を推進することを目的とした協議会を設置する。

取組の成果

○統括コーディネーターが中学校、協会・連盟、中体連との協議を適宜行い連携を図った。統括コーディネーターを学校教育課に配置することで、学校との関係がより密接になり、情報提供や助言が定期的にできた。

○市スポーツ協会と連携して、中学生が入会可能な地域クラブ等の情報収集を行い、市スポーツ協会のホームページに掲載し中学校に情報提供を行った。

○年3回の協議会を開催し、協議結果と本市の基本方針を市公式webサイトに掲載した。新たな地域クラブを設立する動きが出て、ソフトボール、合気道、弓道といった部活動にない競技は、会員募集を呼びかけるクラブもあった。

部活動地域移行推進委員会

回数	期日	協議内容
第1回	9/25	基本方針、基本方針の具体的な取組
第2回	11/20	関係諸団体との連携方法、アンケート
第3回	3/18	アンケート結果、今後の具体的な取組

中体連専門委員・協会連盟との協議

市内設置部活動	中体連 専門委員	協会・連盟 (出席者)
バレーボール	11/ 5	3/3 (事務局)
陸上競技	11/ 8	12/23 (事務局)
軟式野球	11/ 8	11/29 (事務局)
サッカー	11/ 8	12/ 6 (会長)
柔道	11/ 8	2/28 (事務局)
バスケットボール	11/12	12/ 4 (副会長)
ソフトテニス	11/12	2/ 4 (副会長)
卓球	11/13	12/25 (会長)

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・協議会の設立・運営
- ・中体連の各競技専門委員、部活動の各競技の協会・連盟、地域クラブ、拠点校、中学校校長会との協議の実施
- ・本市の部活動の地域移行の基本方針に基づいた具体的取組の推進

今後の課題と対応方針

- ・今後の地域移行の進捗状況に応じて推進体制を検討していく必要がある。特に、活動場所の確保や環境整備など、課題ごとに関係部局・課が連携が図れる体制を構築していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

・令和元年度に導入した益田市部活動指導者バンクへ登録していただきそうな人材の発掘に努め、指導員として依頼を進める。
 ・今年度も市の公式webサイトで地域指導者を募集し、各公民館に登録用紙を設置する取組を行う。

人材バンクの人数

9名

人材バンクの年齢構成

10代	0名
20代	0名
30代	1名
40代	4名
50代	1名
60代以上	3名

登録者属性

職業

・会社員	5名
・公務員	3名
・農業	1名

指導者バンク周知方法

- ・市広報
- ・市公式webサイト

種目

・バスケットボール	3名
・バレーボール	2名
・陸上	1名
・サッカー	1名
・ソフトテニス	1名
・スポーツ全般	1名

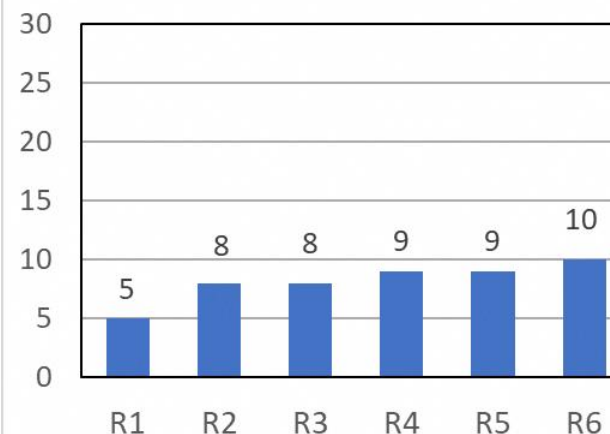
資格有無

指導者バンクの登録に資格の有無は問わない

取組の成果

・今年度は10名の指導者バンク登録者の中から3名の方に中学校で指導していただいた。
 ・現段階では指導者バンクに未登録であるが、地域指導者として部活動の指導をしていただいている方が14名おられ、登録を進めている。

部活動指導者バンク登録者数



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- 小中学校保護者へ本市の基本方針の説明を実施する。
- 市中学校校長会や市郡中体連の会議に出席し、情報共有を行う。
- 協会・連盟、中体連、地域クラブ等の各団体と、本市の基本方針や個々の現状や課題について個別協議を行う。

取組の成果

- 市内全中学校のPTA総会で本市の基本方針について説明を行い、小学校については動画配信を行った。基本方針に関する質問については後日、市の公式webサイトでQ&Aを掲載し、意見や要望については協議会で共有した。
- 本市の方針の周知とともに、中学校やスポーツ関係諸団体の現状や課題を把握することができた。また、競技毎に円滑な移行方法について協議し、移行に向けて情報収集ができた。
- 各中学校で地域移行に向けて協議する機会が増え、地域活動に参加しやすい環境にするなど、段階的な取組が見られた。

今年度の地域移行に関する会議の実施（市内9校）		
種類	実施した	増加した
校内会議	8	2
保護者との会議	3	3

今年度の地域移行に向けた新たな取組（市内9校）	
取組内容	校数
活動方針の見直し	5
活動日数の縮減	4
活動時間の縮減	4
合同部活動の実施	4
生徒のニーズに応じた活動	3
任意入部制の導入	2
習い事や地域の活動優先・推奨	2
地域との連携	2
運営可能な部活動数の実現	1

地域移行に向けた中学校の取組に関する調査
(R7年2月 益田市教育委員会)

バス等の運行実績

運行実績なし

バス等の運行経費・収入

運行経費・収入なし

今後の課題と対応方針

- 競技毎に移行のスケジュールを検討する必要がある。
- スポーツ関係諸団体や学校との協議は個別だけでなく、競技ごとに関係者が一堂に会して行う必要がある。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

今年度は策定した基本方針を保護者に周知し、基本方針に基づいた具体的な取組内容を検討することから始めた。協議会を設置して幅広く意見を集約し、協会・連盟、中体連、地域クラブなどのスポーツ関係諸団体との個別協議や中学校校長会との協議、さらに児童生徒、保護者、教職員へのアンケート調査を通して、それぞれが置かれている現状と課題や意向等を把握することができ、地域移行の具体的な取組を検討していくうえで大いに参考になった。地域移行に向けて、各競技団体の置かれている状況や考え方は様々で移行の難易度の違いもあり、全てを包括した一律の地域移行の取組は現実的ではないと感じた。

●成果の評価

今年度を通して、地域移行に向けた現状把握については概ねでき、今後の方策を検討するための情報はある程度得られた。関係諸団体との協議から、地域移行に向けて協議や取組をはじめようとしている団体も出てきている。また、各中学校で部活動と地域活動を自由に選択できるようにした学校や、活動日や時間を短縮し、地域活動に参加しやすい環境にした学校など、各中学校で地域移行に向けた取組も進みつつある。一方で、地域クラブ等の確保や指導者の確保については十分な成果は上げられなかった。また、平日の地域移行に向けてナイター設備等の環境整備を含めた活動場所の確保と調整といった課題についてはこれからで、現段階では見通しがつきにくい状況である。

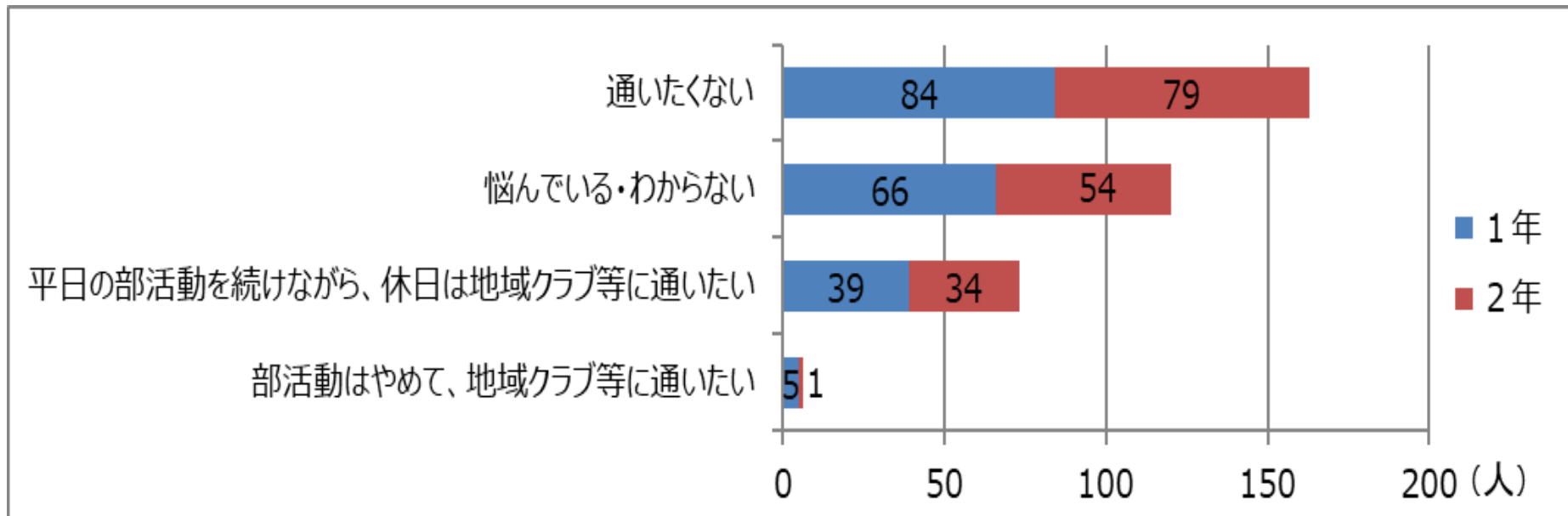
●今後に向けて

当面は令和9年度当初の休日の地域移行の完全実施に向けて取り組みを進めていく。市内で地域クラブを新たに設立する動きがいくつか見られ、地域クラブ等の入会状況や活動場所数の状況、生徒数や地理的な状況から、本市で運営団体を設立・運営するのではなく、民間の地域クラブ等で生徒が活動するのが現実的であると考えられる。そこに本市がどのような具体的な支援が可能かを検討し取り組んでいきたい。また、本市の取組の方向性や取組等に市民に周知し理解と協力を得て地域移行の気運をさらに高めていきたい。

アンケート結果・考察

●中学校1, 2年生アンケート結果

Q.休日の部活動がなくなった場合の地域クラブ等（スポーツ・文化芸術活動）の入会希望
※部活動に入部して地域クラブ等に入会していない生徒362人が回答対象



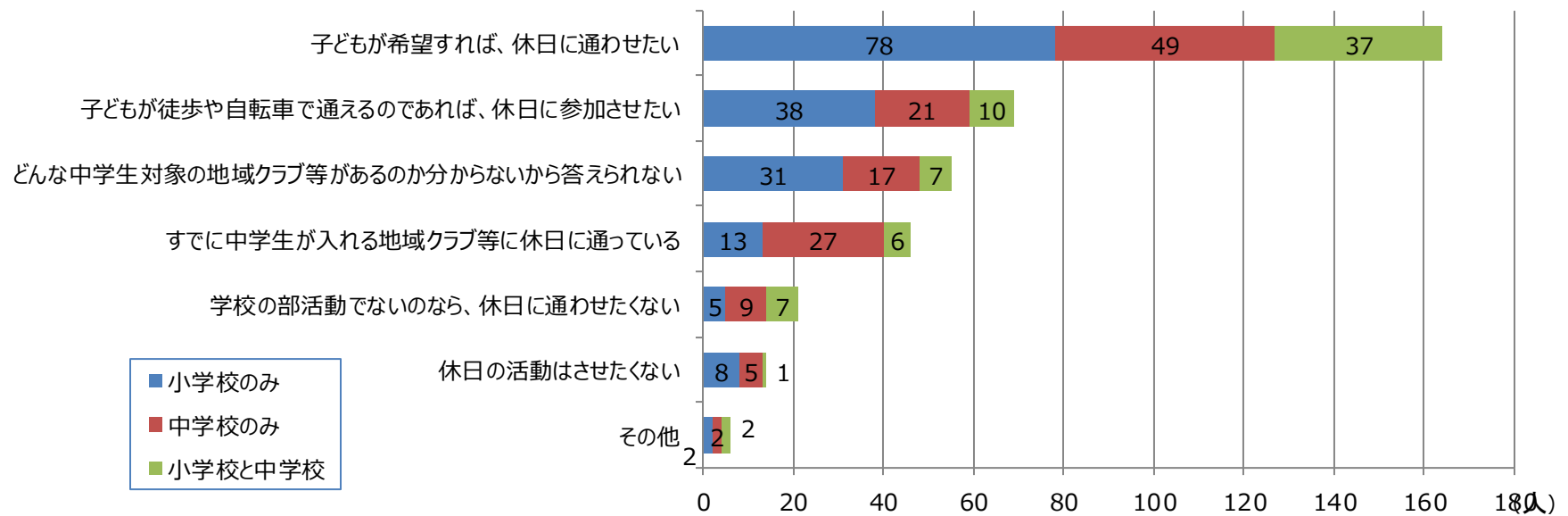
●他の関連アンケート項目の回答を含めた考察

- ・通いたくないと答えた理由として最も多いのは、やりたいと思わないから。次いで、平日に部活動で活動しているからであった。
- ・平日の活動を続けながら、休日は地域クラブ等に通いたい生徒73名のうち、17名が行き先を決めているが、56名は未定。地域クラブ等の周知不足と地域クラブ等の絶対数の不足が考えられる。
- ・地域クラブ等で目指すレベルは、県大会レベルより全国大会レベルが多い。

アンケート結果・参加者の声

●保護者アンケート結果

Q.休日の部活動がなくなった場合、地域クラブ等（スポーツクラブや文化芸術活動等）に通わせたいですか？次の中から当てはまるものをすべて選んでください。



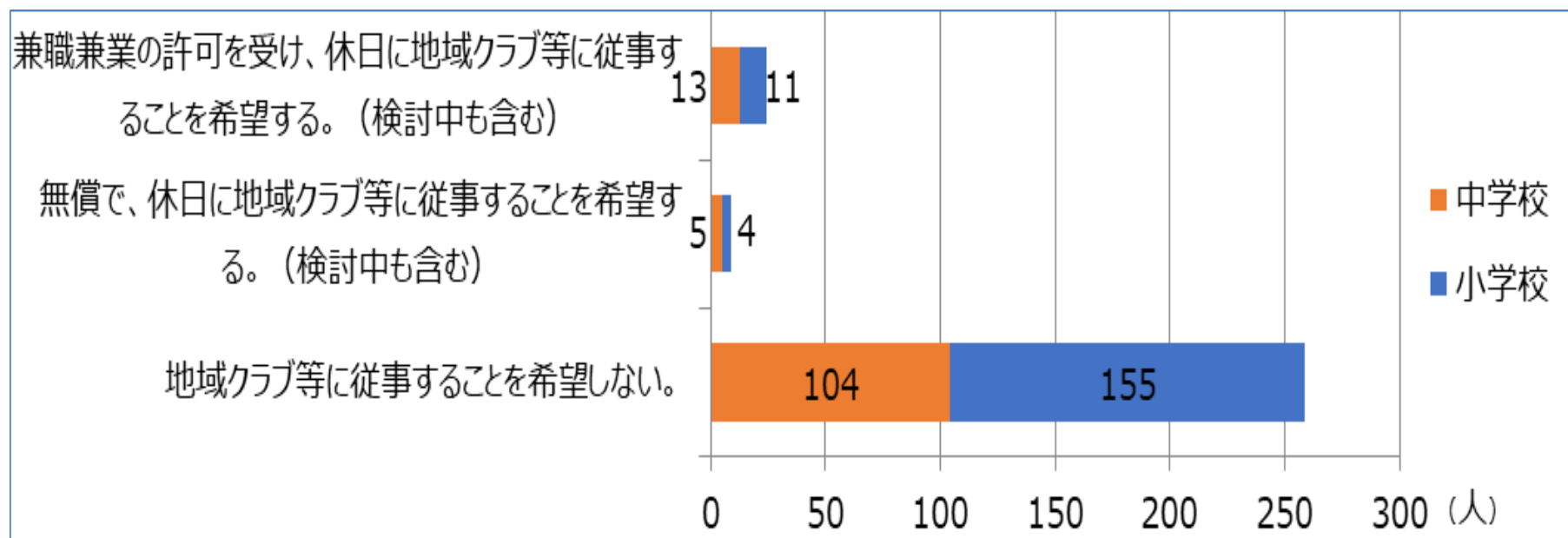
●参加者の自由記述より一部抜粋

- ・送迎が一番心配。地域移行のせいで今子どもがやっている活動を奪うこと（できなくなること）がないようにしてほしい。
- ・高額な楽器を個人所有する必要があるなら参加は難しい。
- ・指導者への対価が十分支払われるか。負担がかかりすぎないか。やりがい搾取のような形にならないか。
- ・子どもたちのモチベーションの低下につながらないか。
- ・益田には地域特性がある。教育委員会は、国の指針を待たずに率先して行動してほしい。

アンケート結果・考察等

●教職員アンケート結果

Q.休日の部活動がなくなった場合、休日に地域クラブ活動に従事することを希望しますか。



●考察等

・兼職兼業の許可を受けて、あるいは無償で休日の地域クラブ活動等に従事することを希望する教職員は、小中合計で33名。回答者の約11%。ただし、地域クラブに関わる教職員に報酬を支払える地域クラブ等は、ほぼないと思われる。

2.実証内容と成果

休日の地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年

- ・推進協議会設置
- ・基本方針周知
生徒、保護者、教職員
- ・モデル校の選定
- ・アンケート実施
児童生徒、保護者、教職員

- ・学校部活動の段階的縮小
- ・関係諸団体との意見交換
- ・兼職兼業検討

令和7年

- ・アンケート実施、公表
- ・市民への基本方針周知と必要な情報発信
- ・モデル校、モデル部活動の指定
- ・他自治体視察、情報交換

- ・関係諸団体との意見交換
- ・詳細な移行スケジュール作成・周知
- ・平日の地域移行検討開始
- ・地域クラブ活動体験入会週間の実施

令和8年

- ・地域クラブ活動と学校部活動との連携強化
- ・平日の地域展開スケジュール作成
- ・地域指導者研修実施
- ・モデル校、モデル部活動の指定

令和9年

- ・休日の地域クラブ活動開始
- ・平日の地域展開実現に向けた活動強化

【令和6年度】

- 前年度に設定された市の部活動地域移行基本方針を市内9中学校それぞれのPTA総会で説明した。周知を図ることで関心を高めることができた。
- アンケートの実施により、様々な情報を得ることができたが、行政への期待は大きいと同時に、大変厳しいものがあることが確認できた。継続的な情報発信が必要。
- 推進協議会を設置し、3回の会議を行った。8名の委員がそれぞれの立場から活発な意見ができた。必要に応じ、地域クラブや部活動顧問、他自治体関係者等のゲスト参加も検討したい。
- 地域移行に関係する団体との意見交換の機会を持つことで、地域移行による目指す姿や実現に向けた課題を共有することができた。

【令和7年度】

- 広く市民に地域移行基本方針を周知するため、市公式Webサイトや市広報の他、各公民館掲示、市LINE、広告モニター、わが街ナビ等の媒体を広く活用する予定。あわせて、詳細な移行スケジュール等を示したい。
- 他自治体との情報交換、連携を密にし、視野を広げたり、活動の焦点化を図ったりしたい。
- 関係団体等との意見・情報交換の場を設けることは、互いに有効であった。継続的に場を設ける。
- 休日の地域展開開始から完全移行までの期間をできる限り短くするためにスケジュールやその方策を進める。

【令和8年度】

- 前年度までの取組の成果と課題に基づき、令和9年度から休日の地域クラブ活動開始のために必要な活動を行う。
- 地域展開推進のための体制強化が必要と思われる。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ[°]

		休日部活動の地域移行 準備期間			
	R4年度	R5年度	R6年度	R7～8年度	R9年度
各中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○働き方改革の推進 ○部活動運営方針の見直し ○各校情報共有 		<ul style="list-style-type: none"> ○移行スケジュール周知 ○移行方針に沿った部活動の在り方の見直し ○合同部活動、拠点校方式の検討 ○土日の部活動は段階的に削減する 		休日 の部 活動 完全 移行
モデル校 モデル部活動	○モデル校指定（R5～6一校、R7～二校）		○モデル部活動指定 （体育一部活動以上、文化一部活動以上）		
教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動地域移行方針策定 ○実態調査の実施 ○中学校への情報提供・共有 		<ul style="list-style-type: none"> ○方針の周知（教員、保護者、関係諸団体、市民） ○アンケート実施（児童生徒、教員、保護者） 		
			<ul style="list-style-type: none"> ○協議会の運営 ○関係諸団体との協議・連携 （中体連、吹連、協会連盟、地域クラブ等） ○地域移行に関する情報提供 （教員、保護者、関係諸団体、市民） ○地域指導者の積極的活用 ○地域移行に関する諸課題の検討 ○平日の地域移行の検討 ○地域クラブ体験入会の実施 		

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

島根県 雲南市

自治体名： 島根県雲南市

担当課名： 学校教育課

電話番号： 0854-40-1072

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	553.18 km ²
人口	34,362 人
公立中学校数	6 校
公立中学校生徒数	882人
部活動数	41 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

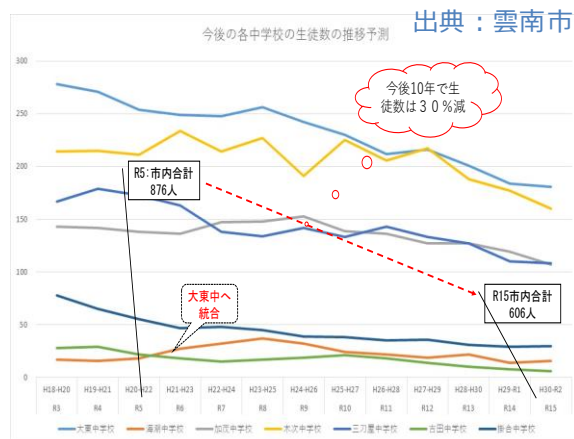
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

- ① 学校規模の格差による生徒が選択できる部活動に大きな差が生じていること
…そのことが、自分の興味・関心や特性を生かした部活動の選択につながっていないため学校生活が生徒にとっては魅力あるものとなっていないことも考えられる
- ② 少子高齢化のさらなる進展により①については益々厳しい状況になってくるとともに、加えて1校でチームを編成できずに合同チームの編成を余儀なくされる学校おび部活動が多数でてる
- ③ 中山間地ならではの広域な通学区域と公

公共交通機関の便が悪いため放課後や休日の部活動のための移動には借り上げたバスや保護者輸送に頼らざるを得ない

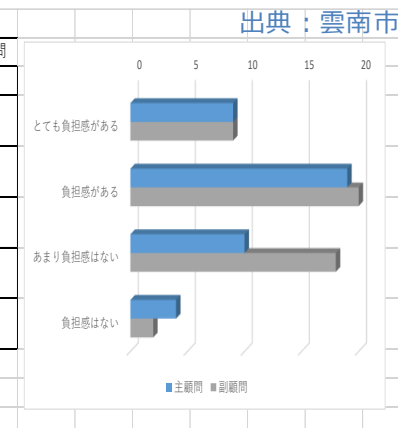
④ 部活動の指導について専門的な知識・技能を有する教職員の確保がむずかしい

⑤ 1 活動の人数が増えることにより負担が減る側面と、部活動として受益者負担が少なかった現状を考慮すると、保護者等の理解が必要



1. 部活動の指導に対する負担感について

	主顧問	副顧問
とても負担感がある	9	9
負担感がある	19	20
あまり負担感はない	10	18
負担感はない	4	2
合計	42	49

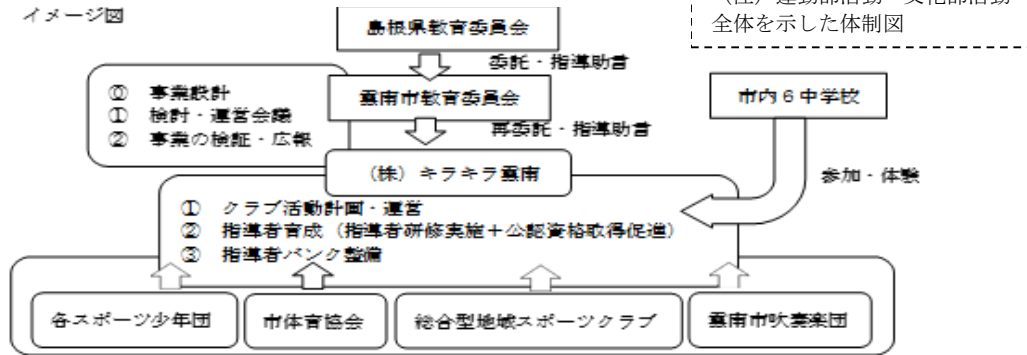


2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）

イメージ図



関係団体一覧

- 重南市教育委員会：事業の設計、検討・運営会議の開催、事業の検証・広報
- 重南市校長協議会：働き方改革委員会、市中体連との連携・協力、検討・運営会議参画
- (株)キラキラ重南：事業委託、検討・運営会議参画
- クラブ活動試行について計画・運営、指導者育成、指導者バンク整備
- 各スポーツ少年団：市体育協会、総合型地域スポーツクラブ、重南吹奏楽団：事業協力、検討・運営会議参画

●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・学校教育課：事業設計、検討・運営会議の開催、事業の検証・広報
- ・社会教育課、スポーツ文化振興室：事業協力、関係団体との調整、検討・運営会議参画

◎首長部局

- ・現在はなし

年間の事業スケジュール

- 4月：事業採択準備期間
- 5月：事業受託→再委託
指導者説明会①
- 6月：検討・運営会議（事業について説明・確認）①
A：春の1年生対象の練習会（地域クラブ活動）（6月1回）
- 7月：事業準備期間
- 8月：検討・運営会議（「市の部活動移行ガイドライン」意見交換）②
指導者説明会・研修会共通②
B：体験的地域クラブ活動（レスリング、テニス、水泳）（8月1回、9月1回）
- 9月：事業実施
- 10月：C：秋～冬の合同部活動（地域クラブ活動）1, 2年生対象
10月、11月、12月の土日で2回ずつ、1月の土日で1回
- 11月：検討・運営会議（事業の進捗状況報告および「ガイドライン」検討）③
- 12月：アンケート実施（その都度実施）
- 1月：事業実施（最終）
- 2月：検討・運営会議（事業の実施状況報告および評価、ガイドライン）策定④
事業報告書作成
- 3月：決算・報告書提出

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	6校	実施した地域クラブ総数	クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形で実施したクラブ数（合同部活動や単独での部活動を地域指導が指導するスタイル）		13クラブ（27部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（既存の地域クラブの活動に体験会として参加するスタイル）		3クラブ
全体の指導者数	70人（バンク登録は101人）	全体の運営スタッフ数	3人（再委託先2人、教委1人）

②各クラブに関すること・・・A1

種目	回数	実施日	実施場所	大東中		加茂中		木次中		三刀屋中		吉田中		掛合中		その他		合計	地域クラブ登録数		合計	指導者数		ボランティア		合計	
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女		男	女	男	女		
陸上	陸上部在籍状況(1~2年生)			12	9													21			0					0	
	1	11/9	土	大東ふれあい運動場	9	7	1											17			0	6	1			7	
	2	11/16	土		7	4	1											12			0	6		1	1	8	
	3	12/21	土		8	7	1												16			0					0
	4	1/11	土		降雪のため中止														0			0					0
バレーボール(男子)	男子バレーボール部在籍状況(1~2年生)			9				7				0	0	0	0			16			0					0	
参加率	1	12/21	土	大東中	9			7								8		24			0	2	1	2		0	
バレーボール(女子)	女子バレーボール部在籍状況(1~2年生)				11		7		12		7							37			0					0	
参加率	1	12/21	土	三刀屋中		9		7		11		4						31			0					0	
	2	1/11	土	大東中		9		7		8		5						29			0					0	

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること・・・A2

令和6年度地域運動部活動推進事業 参加人数一覧																										
種目	回数	実施日	実施場所	大東中		加茂中		木次中		三刀屋中		吉田中		掛合中		その他		合計	地域クラブ登録数		合計	指導者数		ボランティア		合計
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女		男	女	男	女	
バスケットボール	バスケットボール部在籍状況(1~2年生)			9		9				14								32			0					0
	1	11/9	土	三刀屋中	9		9			10								28	11		11	4		2		6
	2	11/16	土	加茂中	9		9			0								18	11		11	3		1		4
	3	12/7	土	三刀屋中	9		9			11								29	11		11	2		2		4
	参加率	4	12/21	土	加茂中	9		9			11							29	11		11	4		2		6
	83%	5	1/11	土	三刀屋中	9		9			10							28	11		11	4		1		5
サッカー	サッカー一部在籍状況(1~2年生)			15	2													17			0					0
	1	10/5	土	大東ふれあい運動場	2	1											17	20		0	4					4
	2	10/22	火		1													1	24		24	2				2
	3	10/29	火		2	1												3	23		23	3				3
	4	11/9	土		11	1										14		26		0	6					6
	参加率	5	11/14	木	大東公園多目的	1												1	25		25	2				2
15%	6	12/7	土	大東ふれあい運動場	3											12	15		0	3					3	
卓球	卓球部在籍状況(1~2年生)															3	3		0						0	
	開催なし																0		0							0
ソフトテニス	ソフトテニス部在籍状況(1~2年生)								19								19			0					0	
	参加率	1	11/9	土	木次中テニスコート				9								9		0						0	
	47%	2	1/11	土	降雪のため中止												0		0						0	

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること・・・A3

令和6年度地域運動部活動推進事業 参加人数一覧																											
種目	回数	実施日	実施場所	大東中		加茂中		木次中		三刀屋中		吉田中		掛合中		その他		合計	地域クラブ登録数		合計	指導者数		ボランティア		合計	
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女		男	女	男	女		
野球 (大東)	野球(大東)部在籍状況(1~2年生)			21	2													23			0					0	
	1	11/16	土	大東中グラウンド	11	1												12			0	2			1	3	
	2	12/7	土		12														12			0	3		1	4	
	参加率	3	12/21	土	雨天のため中止														0			0					0
	52%	4	1/11	土	降雪のため中止															0			0				0
野球 (木次)	野球(木次)部在籍状況(1~2年生)							22	1									23			0					0	
	1	12/7	土	木次中グラウンド				19										19			0	1				1	
	参加率	2	12/21	土	雨天のため中止														0			0					0
	83%	3	1/11	土	降雪のため中止															0			0				0
野球(三刀屋)	野球(三刀屋)部在籍状況(1~2年生)									9								9			0					0	
	参加率	1	12/8	日	三刀屋グラウンド					6								6			0	2				2	
	72%	2	12/22	日						7								7			0	2				2	
野球 (加茂・吉田・掛合)	野球(加茂・吉田・掛合)部在籍状況(1~2年生)					4						1		5				10			0					0	
	1	10/20	日	加茂中グラウンド		2								2				4			0	2		1		3	
	2	11/9	土				3								2			5			0	4				4	
	3	11/16	土				3					1		2				6			0	4				4	
	4	12/7	土				2					1		2				5			0	3		1		4	
	参加率	5	12/21	土	雨天のため中止														0			0					0
	50%	6	1/11	土	降雪のため中止															0			0				0

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること…A4

令和6年度地域運動部活動推進事業 参加人数一覧

種目	回数	実施日	実施場所	大東中		加茂中		木次中		三刀屋中		吉田中		掛合中		その他		合計	地域クラブ登録数		合計	指導者数		ボランティア		合計
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女		男	女			
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女						
ソフトボール	ソフトボール部在籍状況(1~2年生)				8		12		12		10							42			0					0
	1	10/19	土	大東中学校		5		12		4		11						32			0	4	3			7
	2	11/9	土	大東中学校		6		11				11						28			0	3	2			5
	3	11/16	土	大東中学校		6		11		4								21			0	2	2			4
	4	12/14	土	三刀屋中		7		8		3		10						28			0	5	3			8
	5	12/21	土	大東中学校		6		7		5		9						27			0	4	4			8
	6	1/18	土	大東中学校		0		10		5		10						25			0	3	2			5
参加率 64%	7	1/11	土	降雪のため中止													0			0					0	
柔道	柔道部在籍状況(1~2年生)													8	4			12			0					0
	1	11/16	土	掛合中学校														0			0					0
	2	12/21	土															0			0					0
	参加率 38%	3	1/11	土	降雪のため中止													0			0					0
剣道	剣道部在籍状況(1~2年生)			3	1	5		9	4	3	5							30			0					0
	1	10/5	土	三刀屋中		1	4	4	2		2							13			0	5		3	1	9
	2	10/19	土	加茂中	2		4	5	3		3							17			0	3		1		4
	3	11/9	土	木次中	2		5	7	3		2							19			0	5		1	2	8
	4	11/16	土	三刀屋中	2		5	4			3							14			0	2		2		4
	5	12/7	土	大東中	1		5	4	1		3							14			0	4		1	1	6
	6	12/21	土	木次中	2		5	5	4		3							19			0	3		1	2	6
参加率 53%																	14			0	4		1	1	6	
バドミントン	バドミントン部在籍状況(1~2年生)			9	12													21			0					0
	開催なし																	0			0					0

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

③その他、体験会やイベント等の開催実績・・・B1

令和6年度地域運動部活動推進事業 参加人数一覧																										
種目	回数	実施日	実施場所	大東中		加茂中		木次中		三刀屋中		吉田中		掛合中		その他		合計	地域クラブ登録数		合計	指導者数		ボランティア		合計
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女		男	女	男	女	
レスリング 参加率 0%	地域クラブ																	0			0					0
	1	8/24	土	加茂B&G海洋 センター														0			0					0
	2	9/7	土															0			0					0
テニス 参加率 0%	地域クラブ																0			0					0	
	1	8/24	土	加茂中央公園 テニスコート													0			0					0	
	2	9/7	土														0			0					0	
競泳 参加率 0%	地域クラブ															0			0					0		
	1	9/7	土	加茂B&G海洋センター													0			0					0	

実施状況（写真）

部活動地域移行実証事業「1年生合同部活動」実施状況

1. ソフトボール

- ①会場：三刀屋中学校グラウンド
- ②参加生徒：
大東中、加茂中、木次中、三刀屋中：1年生24名
- ③指導者：8名
- ④概要：ウォーミングアップ、キャッチボール、ティーバッティング…



2. 剣道

- ①会場：三刀屋中学校体育館
- ②参加生徒：
大東中、加茂中、木次中、三刀屋中：1年生12名
- ③指導者：5名+ボランティア1名
- ④概要：基本の構え、素振り、型の練習…他



3. ソフトテニス

- ①会場：明石緑が丘公園・テニスコート
- ②参加生徒：木次中：1年生14名
- ③指導者：2名
- ④概要：ボール打ち…他



4. 陸上

- ①会場：大東公園ふれあい運動場・陸上競技場
- ②参加生徒：大東中、木次中、掛合中：1年生13名
- ③指導者：9名
- ④概要：ウォーミングアップ、種目別練習…他



出典:雲南市撮影

実施状況（写真）

部活動地域移行実証事業「秋～冬の合同部活動」①

1. 剣道



2. ソフトボール



3. 野球



4. サッカー



出典:雲南市撮影

2.実証内容と成果

実施状況（写真）

部活動地域移行実証事業「秋～冬の合同部活動」②

5. 陸上



6. バスケットボール



7. 柔道



8. バレーボール



出典:雲南市撮影

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

① 検討・運営会議の開催（年4回）

学校から地域への段階的移行について理解をすすめながら雲南省の状況を踏まえた上で、「学校と地域が協働・融合」して『生徒にとって魅力的で望ましい部活動のあり方』について検討し、「雲南省ガイドラインの策定」および受託した事業の評価と検証を行う

② プラットフォームの構築

事業の委託を通しての「地域運動部活動（地域クラブ）」の統括・調整・推進機関を育成・整備する

具体的には（株）キラキラ雲南への一部事業委託（クラブ活動、指導者研修、指導者バンク作成）を想定。その他関係機関との連携を含む

取組の成果

① 雲南省の地域移行のスケジュールと育成する地域クラブの形（位置づけ）などを「雲南省の部活動地域移行ガイドライン」として策定することができた

② 実証事業を通して「地域運動部活動（地域クラブ）」の統括・調整・推進機関を整備・育成することができた

今後の課題と対応方針

・検討会議について・・・「雲南省の部活動地域移行ガイドライン」に沿った地域展開の実施と課題解決⇒今後は、地域クラブの育成および円滑かつ健全な運営のための関係機関による「連絡協議会」へと移行しながら円滑な地域展開をめざす

・プラットフォームの事業負担の軽減⇒ICTの導入による利便性向上と省力化で対応

雲南省中学校部活動の地域展開に関するガイドライン
2025.03. 雲南省教育委員会

	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	2024	2025	2026	2027	2028	2029
① 休日の活動を地域クラブ活動へ展開する						
② 平日の活動も地域クラブ活動へ展開する						
③ 大会参加を学校単位からクラブ単位に展開する						

*【地域展開のスケジュール】

① まずは、休日の活動を地域クラブ活動へ展開する（平日は各学校での活動となる）

実証事業を通して推進し、可能な学校・種目から休日の活動については地域クラブとしての活動に展開する…R9年度末には、すべての学校・種目の休日の活動を地域クラブ活動へ展開をめざす

② 平日の活動も地域クラブ活動へ展開する（学校部活動から地域クラブへの完全展開完成）

実証事業を通して推進し、可能な学校・種目から平日の活動についても地域クラブとしての活動に展開する…R11年度末には、すべての学校・種目の平日の活動も地域クラブ活動へ展開をめざす

③ 大会参加（中体連含む）を学校単位からクラブ単位に展開する

①と③をふまえて、学校と地域クラブで協議して展開する

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

①指導者バンク整備

種目別の指導者名簿の整備・拡充（協力者依頼、資格確認、紹介等）

②指導者説明会

・研修会の実施
事業説明会、ハラスメント研修など… 3回

取組の成果

初年度（R4）50名でスタートした指導者バンクは、今年度の登録者は約100名となり、その指導者が実証事業に積極的に協力し関わってくれた

部活動地域展開実証事業 指導者バンク 登録状況

No.	種目・種別	登録者数	指導		指導形態			年代・指導資格の状況											実際に 参画した 指導者数			
								休日可	平日可	メイン	サブ	どちらも可	20代		30代		40代			50代		60代
			資格有	資格無	資格有	資格無	資格有						資格無	資格有	資格無	資格有	資格無	資格有		資格無		
1	野球	18	12	9	2	9	4	1		3		11		2						1	14	
2	サッカー	16	9	7	2	2	4			1		6		3	1	1				4	11	
3	バレーボール	16	8	5	1	6	3			1		2	4		1					8	6	
4	バドミントン	6	6	6	5	1	0					2		1						3	0	
5	ソフトボール	9	8	5	3	2	3			1	1	1		1	2	1	1	1			9	
6	剣道	10	4	3	1	2	2	2		1		2	1	2						1	1	7
7	柔道	6	7	5	3	2	2					2					3			1	4	
8	陸上	12	6	0	1	4	1	1	2	2	5		1	1							13	
9	テニス	1	1	1	1	0	0												1		1	
10	卓球	1	1	0	0	1	0													1	0	
11	ソフトテニス	1	1	1	0	1	0												1		1	
12	バスケットボール	4	2	1	1	0	1	1				2	1								4	
13	レスリング	1	1	1	1	0	0													1	0	
合計		101	66	44	21	30	20	5	2	8	7	26	5	14	3	6	1	4	20		70	

※登録人数は重複登録有

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者説明会・研修の実施状況

第1回

日時 / 令和6年5月30日(木)

19時00分～20時30分

会場：三刀屋文化体育館アスパル

内容：(1) 令和6年度事業説明について
(2) 令和6年度事業計画について

第4回

日時 / 令和7年1月31日(金)

19時00分～20時30分

会場：三刀屋文化体育館アスパル

内容：

- (1) R6年度 実証事業のまとめ
ガイドラインに対するアンケートについて
- (2) R7年度 実証事業の計画(案)

第2回

日時 / 令和6年8月30日(金)

19時00分～20時30分

会場：三刀屋文化体育館アスパル

内容：

- (1) 試行的合同部活動の開催について
・日時、場所、指導者、当日運営の確認



- (2) 研修

・学校部活動の指導者から
～生徒の伸びしろをサポートする～
三刀屋高校 女子ソフトボール部監督
田上 美和 氏



第3回

日時 / 令和6年11月28日(木)

19時00分～20時30分

会場：三刀屋文化体育館アスパル

内容：

- (1) 研修会
からだのつくりとけがの予防と
運動後のリハビリ
雲南市立病院リハビリテーション技術科
影山 哲士 氏(スクールトレーナー)
- (2) 雲南市 部活動地域移行の
ガイドライン(案)について



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- ① 県：県教委の検討会議などへの参加、県スポーツ協会との連携・情報収集
- ② 市内：校長協議会、中体連、市スポーツ協会、市スポーツ少年団本部との連携（検討運営会議への参画および事業への協力）
- ③ 近隣の町：他町教委、中体連などとの連携、情報発信・共有

取組の成果

- ① 県教委のトップコーチ育成事業へ市内指導者バンク登録者の参加、県中体連の県総体参加規程の特例（監督・コーチ）申請など
- ② 関係団体の検討会議への参画と事業協力⇒「ガイドラインの策定」、スポーツ少年団研修会での地域移行についての説明会、高等学校、市立病院関係者の指導者研修会への協力

今後の課題と対応方針

今後は、地域クラブの育成および円滑かつ健全な運営のための関係機関による「連絡協議会」へと移行しながら円滑な地域展開をめざす

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

- ① 隣接する町との連携
- ② 中体連の地域区分（ブロック）として隣接する飯南町、奥出雲町の中学校の部活動部員の参加

取組の成果

- ①② 隣接する町（飯南町、奥出雲町）の生徒も参加の受け入れを実施（サッカー、R5はバレー）

今後の課題と対応方針

今後、クラブへの地域展開（移行）が進めば、さらに近隣の市町からの参加を受け入れていく⇔中体連大会に部活動（学校）として参加するかクラブとして参加するか整理が必要

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

開催回数の拡充（令和6年度）← 種目の拡充（令和5年度）

C:秋～冬の合同部活動（地域クラブ活動）1, 2年生対象：12種目（10月～1月）

取組の成果

休日の地域指導者による活動の回数の拡充（R5⇒R6：種目数10⇒13、参加生徒合計628⇒802、指導者延べ数152⇒161）

休日の部活動を地域で展開できるという見通しと意欲が高まった

今後の課題と対応方針

学校の部活動と休日の地域でのクラブ活動との調整（日程調整が最大の課題）⇒R7の日程調整をR6から実施しておく

活動の詳細：c秋～冬の合同部活動（地域クラブ活動）

令和6年度部活動地域移行実証事業 合同部活動練習会 進捗状況

種目	申込人数	申込締切	会場							申請書
			10/5(土)	10/19(土)	11/9(土)	11/16(土)	12/7(土)	12/21(土)	1/11(土)	
バレーボール(男子)	2	12/16	×	×	×	×	×	大東中(半)	×	済(11/6)
バレーボール(女子)	0	12/16	×	×	×	×	×	三刀屋中	大東中(半)	済(12/2)
バスケットボール	29	終了	×	×	三刀屋中	加茂中	三刀屋中	加茂中	三刀屋中	済(10/10)
剣道	24	終了	三刀屋中	加茂中	木次中	三刀屋中	大東中(半面)	木次中	中止 ※大会のため	済(9/25)
陸上競技	17	終了	×	×	大東ふれあい運動場	大東ふれあい運動場	×	大東ふれあい運動場	中止(降雪)	済(9/25)
バドミントン	-	-	未定							未
サッカー	5	終了	大東JFC	10/22 FC.UNNAN	大東JFC	10/29 FC.UNNAN	大東JFC	11/14 FC.UNNAN ※大東公園多目	-	済(9/25)
卓球	-	-	未定							未
ソフトテニス	9	終了	×	×	木次中テニスコート	×	×	×	中止(降雪)	済(9/25)
軟式野球(大東)	14	終了	×	×	×	大東ふれあい運動場	大東ふれあい運動場	大東ふれあい運動場	中止(降雪)	済(9/30)
軟式野球(木次)	17	12/1	×	×	×	×	木次中校庭	木次中校庭	木次中校庭	済(11/6)
軟式野球(三刀屋)	8	12/1	×	×	×	×	12/8 三刀屋中	12/22 三刀屋中	×	済(11/13)
軟式野球(加・吉・掛)	9	終了	×	10/20 加茂中	加茂中	加茂中	加茂中	加茂中	中止(降雪)	済(9/25)
ソフトボール	36	終了	×	大東ふれあい運動場					中止(降雪)	済(9/25)
柔道	×	×	×	×	×	掛合中武道場	×	掛合中武道場	中止(降雪)	-

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

公費負担と受益者負担についての検討

これまでの部活動は無償で実施されており、地域移行による受益者負担（保護者）の理解を得る必要もあるため、これまでの部活動よりも魅力的な活動とする必要がある。

そのうえで、負担額や公費の負担額について検討を行う。

取組の成果

受益者負担の観点から、今回の活動には2,000円の参加費（保険料：800円、1回の参加料200円相当）を徴収した…それが参加率に影響を及ぼすことはなかった

今後の課題と対応方針

- ・今年度は、就学支援家庭への支援は実施しなかった
⇒R7年度は、就学支援家庭への参加費の補助を計画している
- ・クラブ運営の健全化と受益者負担、公費支援について引き続き検討していく

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

公共施設・学校施設の活用についての検討・実施
（種目別拠点および開催のローテーション）

取組の成果

- ・今年度の実証事業では市内4つの中学校の体育館をバスケットボール、バレーボール（男女）、剣道の活動で利用し、各種目でローテーションしながら実施した…開錠・施錠については、学校よりスペアキーを借り受けなんとか対応できた

今後の課題と対応方針

- ・会場に加え、備品や用具などの利用の利便性が課題となっている⇒会場の施錠・開錠にはスマートロックの導入を検討する

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- ①実証事業を通して今後の地域展開のスケジュールやスキームを検討し「雲南市中学校部活動の地域展開に関するガイドライン」を策定した
- ②実証事業を通して指導者の確保、資質の向上に取り組めた
- ③実証事業を通して多くの種目で生徒が地域指導者から指導を受ける機会の創出ができた＝指導者バンク登録者を活用して地域クラブ活動への展開（移行）を試行できた（休日部活動の地域展開）
- ④実証事業を通して地域クラブへの展開の見通しと手ごたえを持つことができた（教育委員会、運営主体：再委託先、実施主体：地域指導者＝指導者バンク登録者、学校、生徒・保護者）

●成果の評価

- ①「雲南市中学校部活動の地域展開に関するガイドライン」の策定
- ②指導者の確保（R4：50名⇒R6：100名）
指導者の資質向上：市独自の研修会（R4：1回、R5：1回、R6：2回）
- ③地域クラブ活動への展開の試行
R5⇒R6：種目数10⇒13、参加生徒合計628⇒802
指導者延べ数152⇒161（詳細は、2.実証内容と成果参照）
- ④地域クラブへの展開と見通しの手ごたえ
地域指導者の理解と熱意により、スケジュールを前倒して地域クラブへの展開が進む見通し

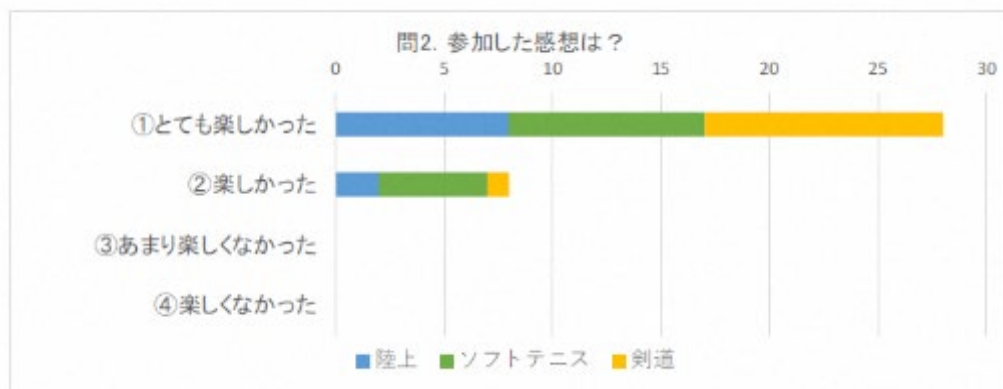
●今後に向けて

- 今後も実証事業を通して「雲南市中学校部活動の地域展開に関するガイドライン」を着実に進めていく
- その中で、ガイドラインについては、地域展開の進捗を見ながら適宜修正し、課題の解決に努める
- * 課題：ガイドラインの広報・説明⇒理解促進
費用負担の在り方、活動場所への移動（地域クラブの健全な運営と保護者負担の軽減）
平日の展開（移行）に向けた検討と試行

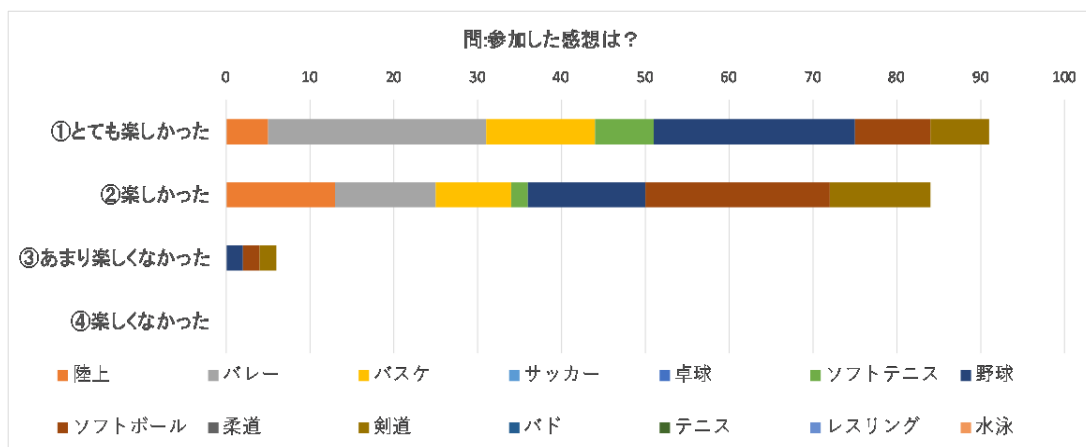
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

Q.中学1年生対象合同練習会 参加した感想は？



Q.秋～冬の合同部活動 参加した感想は？



●参加者の声

【中学1年生対象・合同部活動】

- ・地域の方との交流が楽しかったし、アドバイスをいかして成功することが出来たから（ソフトテニス）
- ・色々な種目があって、参加するのが楽しかったから（陸上）
- ・きちんと丁寧に、出来るまで教えてもらった（剣道）

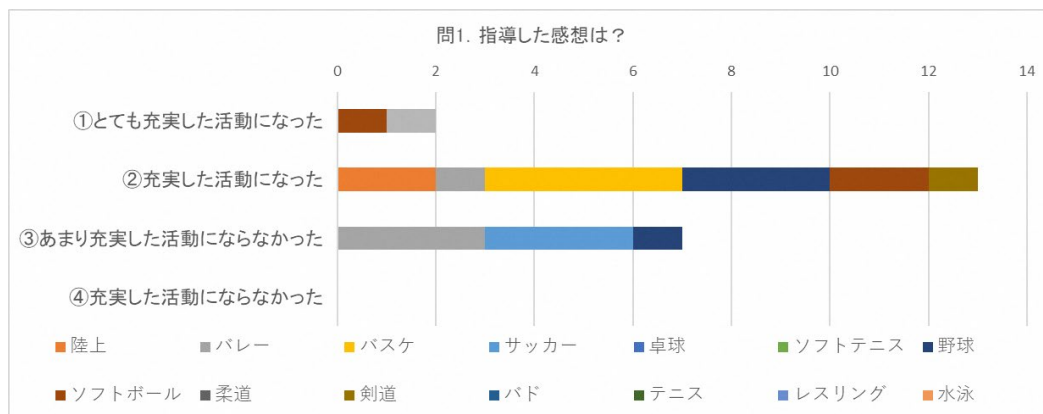
【中学1.2年生対象・秋～冬の合同部活動】

- ・沢山のコーチや指導者方に教えていただくことができたし、友達とたくさん練習出来たから（陸上）
- ・いつもはライバルとしてやっている他のチームの人達と笑顔でバレーが出来たし、他校の友達もたくさん出来た（バレー）
- ・色々なプレイスタイルがあって面白いと思ったから（バスケ）
- ・試合形式の練習をして、上手な人と出来たから（ソフトテニス）
- ・別の学校の生徒と練習することが出来て楽しかった（剣道）
- ・普段の部活動とは別のことをして新鮮だったから（野球）
- ・技術の向上や他校の友達との交流につながったから（ソフトボール）

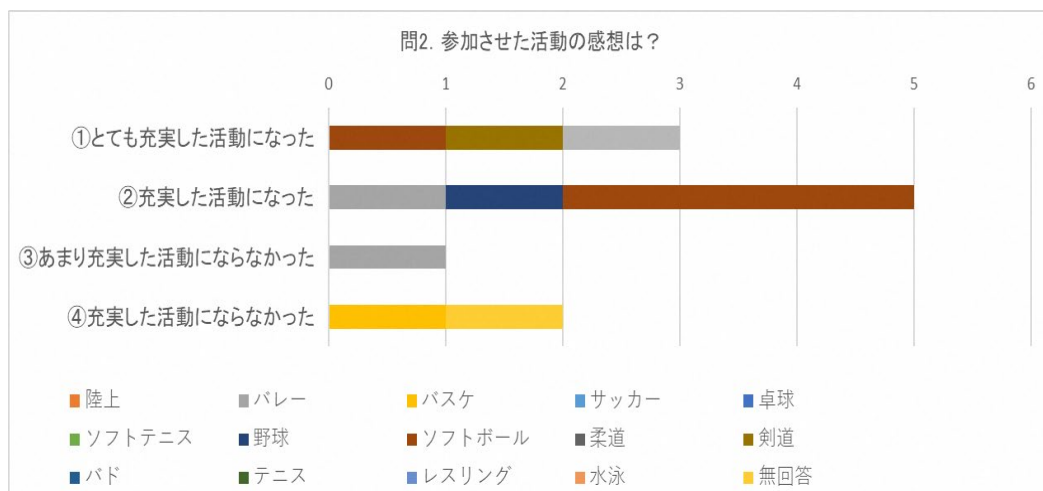
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

Q.秋～冬の合同部活動 指導者：指導した感想は？



Q.秋～冬の合同部活動 保護者：参加させた活動の感想は？



●指導者の声

【秋～冬合同部活動】

- ・楽しく賑やかな雰囲気もあり、普段の部活動とは違うスポーツからも参加があり、有意義であった（陸上）
- ・子供たちの笑顔を見たら、それが答えです（バレー）
- ・参加者が多かった時は充実した活動にはなったと思う（サッカー）
- ・指導者の登録人数も増え、充実した活動ができた 生徒もこの活動に積極的に参加してくれたので良かった（ソフトボール）
- ・子供達との距離感が近くなり、親しく話しかけてきたり、指導を受けに来てくれるようになった（剣道）
- ・子供達に対する声かけの数が、明らかに部活動より多いのでその点では地域移行が間違いなく良いと思う（軟式野球）

●保護者の声

【秋～冬合同部活動】

- ・子どもが楽しかったと帰ってきました その理由のひとつが他の学校の生徒と仲良くなれたこと（バレー）
- ・部活では、先生が2、3年生の練習を主に見られるので、1年生にとって、まだ教えていただけていないことも、聞くことができよかったですと言っていた（剣道）
- ・・・など

2.実証内容と成果③

広報資料（合同部活動生徒向け案内、市民向け広報）

令和6年度部活動地域移行実証事業
雲南市内中学 1~3年生対象
陸上競技
合同練習会

日時	11/9、11/16、12/21、1/11(土) 9:00~11:30
場所	大東ふれあい運動場(陸上競技場)
指導者	雲南市陸上競技協会 普及部長 土谷明由ほか 陸上競技関係者
対象	雲南市内中学 1~3年生
参加費	2,000円 <small>2024スポーツ安全保険料を含む</small> <small>※陸中参加の場合は参加費は一律なし、現金はしません。お申し込み後、学校で現金します</small>
持ち物	シューズ・ドリンク、スリタイク 服装 運動ができる服装
参加方法	二次元バーコードをQR取り、9月25日(水)までにお申込みください
保険	この練習会はスポーツ安全保険に加入しています
欠席連絡	土谷明由 090-3638-3651 ※当日欠席の場合の連絡先
アンケート	保護者向けアンケートにご協力をお願いします。二次元バーコードをQR取り、回答をお願いします。参加の有無に関わらず答えていただけます。
お問い合わせ	(株)キラキラ雲南 三万屋文化体育館アスバル ☎(0854)45-9222

(株)キラキラ雲南 三万屋文化体育館アスバル ☎(0854)45-9222 休館日:火曜日 お問い合わせ時間/9:00~17:00

【生徒への参加募集チラシ：陸上・秋冬の合同部活動】

出典:雲南市作成

令和6年度 雲南市 中学校の部活動を地域移行する取組について 2024.10

現在、図が進めている中学校の部活動を地域移行することについて雲南市でも令和4年度より国の実証事業を受けて検討と実践を行って来ています。

市内では少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化関連活動に継続して楽しむことができる機会を確保することを第一の目的として、中学校の部活動にかかわる地域クラブの育成を目指しています(部活動の地域移行を推進する)。まずは休日の活動から地域移行を進めながら、平日の活動についても順次地域移行できるように実証事業を進めていく予定です。

令和6年度も春には1年生(新入部員対象)の合同練習会を実施しました。秋からは1~2年生対象の合同部活動(地域クラブ活動)を地域の指導者の協力を得て取り組む予定です。

◆運動部活動について
秋から冬の合同部活動(地域クラブ活動)全12曜日
10月5日(土)・19日(土)、11月9日(土)・16日(土)
12月7日(土)・21日(土)・1月11日(土)…7回を予定
*曜日によって実施回数が変わる場合があります

◆文化祭活動(吹奏楽)について
秋から冬の合同部活動
10月5日(土)、10月19日(土)、11月16日(土)
吹奏楽部(地域クラブ活動)…追加事業
10月27日(日)、11月4日(祝)
ウィンターバンドフェスティバル合同練習(アスバル)
2月1日(土)・2日(日)、2月9日(土)・10日(日)・11日(日)・12日(日)・13日(日)・14日(日)・15日(日)・16日(日)・17日(日)・18日(日)・19日(日)・20日(日)・21日(日)・22日(日)・23日(日)・24日(日)・25日(日)・26日(日)・27日(日)・28日(日)・29日(日)・30日(日)・31日(日)にアスバルで開催されます。

【市民向け広報（ホームページ掲載）】

出典:雲南市ホームページ

部活動地域移行実証事業について

- 方針・ガイドラインについて
- 雲南市における取り組みについて
- 部活動地域移行実証事業について
- 市・中学校における部活動地域移行について
- 学校や協会の相談について
- スクール・オンラインによる相談
- 親子共遊のことでお母さんの方へ
- 小学校・中学校と使用する競技場について
- 小学校部活動長の役割について
- 中学校部活動長の役割について
- 中学校部活動の地域移行について
- 雲南市の中学校部活動地域移行について
- 令和6年度部活動地域移行実証事業について

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和3年

- ・地域部活動に係る内部協議開始
- 対象部活動の選定
- 対象事業費の算出

令和4年

- 市内4校を対象に実施
- 合同練習会（ソフトボール）
- 月1回程度
- ・バスなど活用の試行
- 課題の把握・アンケート実施

令和6年

- 地域部活動推進事業検討委員会（年4回実施）
- 【検討内容】
- ・実証事業について
- ・地域部活動のガイドライン検討（令和6年度末策定）

令和3年

事業検討

令和4年

検討委員会設置、検討開始

令和5年

実証事業（運動部活動）の実施
1年目

検討委員会
実証事業（運動部活動）の実施

令和6年

検討委員会
ガイドライン検討・策定

実証事業（運動部活動）の実施

令和4年

- 地域部活動推進事業検討委員会（年3回実施）
- 【検討内容】
- ・実証事業について
- ・取組状況
- ・意見交換

令和5年

- 市内全6校を対象に実施
- 秋～冬の合同部活動 月1回程度
- ・実施方法の改善検討・試行
- 課題の改善・アンケート実施
- 地域部活動推進事業検討委員会（年2回実施）

令和6年

- 市内全6校を対象に実施
- 春の1年生対象の合同練習会 1回
- 秋～冬の合同部活動 月2回程度
- ・実施方法の改善検討・試行
- 課題の改善・アンケート実施

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

* 【地域展開のスケジュール】

- ① まずは、休日の活動を地域クラブ活動へ**展開**する（平日は各学校での活動となる）
 実証事業を通して推進し、可能な学校・種目から休日の活動については地域クラブとしての活動に展開する…R9 年度末には、すべての学校・種目の休日の活動を地域クラブ活動へ展開をめざす
- ② 平日の活動も地域クラブ活動へ**展開**する（学校部活動から地域クラブへの完全**展開**完成）
 実証事業を通して推進し、可能な学校・種目から平日の活動についても地域クラブとしての活動に展開する…R11 度末には、すべての学校・種目の平日の活動も地域クラブ活動へ展開をめざす
- ③ 大会参加（中体連含む）を学校単位からクラブ単位に**展開**する
 ① と③をふまえつつ、学校と地域クラブで協議して展開する

	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	2024	2025	2026	2027	2028	2029
① <u>休日</u> の活動を <u>地域クラブ</u> 活動へ 展開 する		→				
② <u>平日</u> の活動も <u>地域クラブ</u> 活動へ 展開 する		→				
③大会参加を学校単位から <u>クラブ単位</u> に 展開 する		→				

雲南市中学校部活動の地域展開に関するガイドライン
 2025.03. 雲南市教育委員会